

洗面金属排水栓 施工・取扱説明書

金属排水栓の部位名称

安全上の注意

- 施工の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく設置して下さい。
- お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

注意 この表示欄は、「取扱いを誤った場合、使用者が損害を負う、または物的損害の発生が想定される可能性」を示しています。

- この表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。
- この表示は、してはいけない「禁止」内容です。

取り付けのご注意

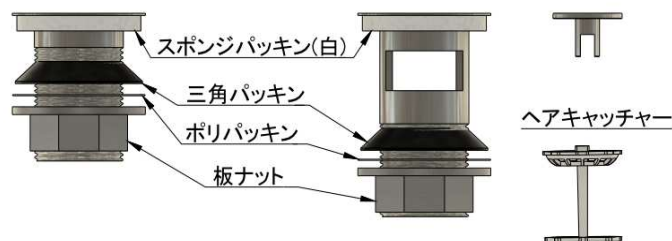
注意

- 施工前に輸送による破損がないか確かめる。
- 施工後に施工による破損がないか確かめる。
※破損部によるケガ、漏水の恐れがあります。
- ボウルや床に落とさないように注意すること。
※ボウルやフローリングの破損、ケガをする恐れがあります。
- 板ナットのネジは締めすぎない。(適正締め付けトルク8~10N・m)
※ボウルの破損につながります。ケガや漏水の恐れがあります。
- 施工後に漏水検査を必ず行う。
※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。
- 洗剤を使用する場合は、使用後すぐに水を流し、洗剤が残らない様に洗い流すこと。
特に酸性の洗剤はメッキが錆びますので、使用しないこと。
※排水部品を痛める恐れがあります。
※排水栓内部は鋭利になっている箇所がありますので、清掃時は直接手を入れれない様にご注意ください。
- 排水栓の材質上、錆が発生することがあります。
※被合物への色移り、干渉がある場合は錆を落としてください。

排水栓(横穴無)

排水栓(横穴有)

化粧板



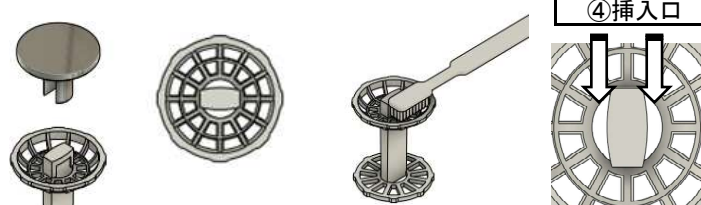
* 排水栓は横穴無と横穴有の2種類あります。取付けるボウルによって違いますので注意してください。

仕様	品番	陶器ボウル品番
横穴無	HK-G1	KB-PR017-01-G173/KB-PR017-02-G173
		KB-PR017-03-G173/KB-PR017-04-G173
横穴有	HKO-G1	KB-PR018-01-G173
		KB-PR018-02-G173

お手入れ方法

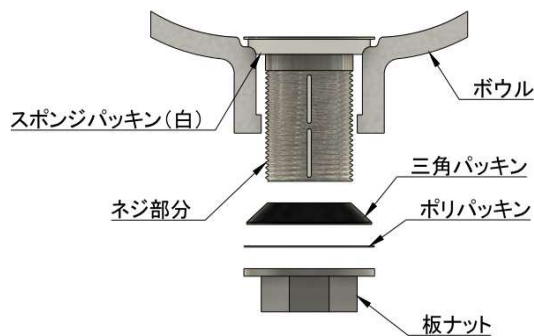
- 定期的にはヘアキャッチャーの掃除をお願いします。
目詰まりがあると排水に時間がかかり、流れが悪くなります。
- ①化粧板を外してください。
 - ②ヘアキャッチャーに目詰まりがないか確認してください。
 - ③目詰まり、汚れ等がありましたらブラシ等で掃除してください。
 - ④化粧板を戻す時は下図の挿入口に差し込んでください。

- ①化粧板を外す。 ②目詰まりを確認する。 ③掃除する。



陶器ボウルへの取り付け手順: 排水栓(横穴無)

- * 作業前に陶器ボウルと排水栓が適合品かを確認してください。
1. 陶器ボウルに排水栓を下図の順に取付けます。

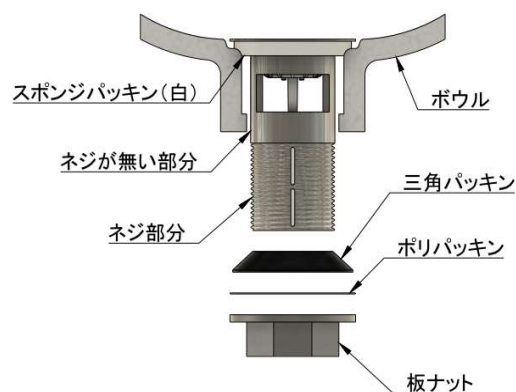


注意事項

- 三角パッキンの向きに注意してください。
三角パッキンはボウルに接するまで手で挿入してください。
- 板ナットのネジは締めすぎないでください。
(適正締め付けトルク8~10N・m)

陶器ボウルへの取り付け手順: 排水栓(横穴有)

- * 作業前に陶器ボウルと排水栓が適合品かを確認してください。
1. 陶器ボウルに排水栓を下図の順に取付けます。

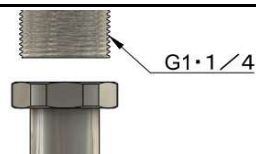


注意事項

- 三角パッキンの向きに注意してください。
三角パッキンは上図のネジが無い部分に乗せるまで挿入してください。
- 板ナットのネジは締めすぎないでください。
(適正締め付けトルク8~10N・m)

2. ストラップ、PTラップ等への接続

排水栓のネジ寸法は、G11/4です。
接続はネジ寸法を確認して行ってください。



2. ストラップ、PTラップ等への接続

排水栓のネジ寸法は、G11/4です。
接続はネジ寸法を確認して行ってください。

3. 施工後の漏水検査のお願い

- 施工後に下記の手順で検査確認をお願いします。
- ① ボウルに水を溜めて三角パッキン付近よりの水漏れがないか。
 - ② 溜めた水を流して配管接続部よりの水漏れがないか。

- 三角パッキン付近よりの水漏れ確認を下記の手順をお願いします。
- ① ボウル穴の手前まで水を溜めて水漏れがないか。
溜めた水に水を足してボウル穴より水を流して水漏れがないか。
 - ② 溜めた水を流して配管接続部よりの水漏れがないか。

